

10202紡績業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	11	13～ 14	当社A工場で作業中混打綿室にて、原綿を開俵した風袋に足が引っ掛かり、躓いた際、右膝を強打した。	58	2	611	30 ～ 49
2	2017	11	21～ 22	被災者はラインの管理運転業務を行っていた。1号機ローラーカードの上部ウェブが出ていないことを発見し、ローラーカードまで点検に行ったところ、ドッファーへウェブが捲き付き掛けていたため、咄嗟に捲き付きを除去しようと回っているところに右手を出しウェブを引っ張ろうとした時、コンデンスローラー間に右手人差し指を挟み受傷した。	55	7	169	50 ～ 99
3	2017	10	10～ 11	織布係、糊付け機No.1ビーム巻き取り時、プレスロールへの糸切れ巻付き処理終了後、再稼働後、不良糸が残っている様に見えるプレスロールを触ろうと手を入れてしまい、プレスロールとビーシングロールの間に左手を巻き込まれた。	39	7	163	100 ～ 299
4	2017	9	15～ 16	社内（第1工場の2号機Bサイド）にて、原糸の供給をする為に、両腕に原糸の紙管部分に腕を通し運んでいる最中に、足を滑らせ転倒した。その際に両手中指が原糸の下敷きとなり、両手中指を負傷した。	47	2	416	30 ～ 49
5	2017	8	15～ 16	作業場にて掃除作業後、三段ステップ上段から二段目に左足を置こうとした際に足を踏み外し、機台側に置いてある屑籠で右尻を打ち、そのまま床に左側太ももから落下し、左大腿骨を骨	56	1	413	50 ～ 99

				折した。				
6	2017	6	16~ 17	梳綿機点検作業中、クリアラー部に風綿が付着しているのを発見した。ウェブカバーを開け、利き手ではない左手で回転中のクリアラーを取ろうとしたが、クリアラーが上手く外れず、クリアラーとストリッピングローラーに左手親指が接触し、親指第一関節甲部を受傷した。	26	7	169	50 ~ 99
7	2017	5	9~ 10	工場にある織機No.92号機において、箄・ヘルド（幅190cm、奥行10cm、高さ35cm、重さ8kg）を織機に仕掛ける作業の時、箄・ヘルドを仮置きするために織機フレーム上部（高さ140cm）にフックを掛けておいた。箄・ヘルドを両手で持ち上げてそのフックに仮置きしようとした時、誤ってフックに接触し落下し、箄・ヘルドが仮置きできなくなったため前かがみの体勢で支えていたとき、腰に激痛が走り動けなくなった。	29	19	921	30 ~ 49
8	2017	4	9~ 10	工場内で稼働中の機械の異常や糸切れ等の見廻り中に、数ヶ所に糸切れを発見した為、糸つなぎ作業をしていた。そのうち1本がフィードローラーに糸が巻きついており、通常はフィードローラーに巻き付いた場合は機械停止まで放置することになっているが、誤って巻き付き糸をカットしようとして指を挟んでしまった。	58	7	169	10 ~ 29
9	2017	2	15~16	カード機（原料からゴミ及び短繊維を除去する機械）のワイヤー巻き換え作業準のため、サイドシャフトを取り外し中に、片方のシャフトが落下し（固定用ボルトは取り外した状態）機台とスプロケット（歯車）の間に左手人差し指を挟まれた。	56	7	612	50 ~ 99
10	2017	1	14~ 15	商品を梱包するダンボールケース（50cm×50cm×30cm）を商品を入れて（約20kg）移動しようとしたとき、誤って腰をひねった様な感じになった。	52	19	611	10 ~ 29
				工場マッハコーナー周辺にて、ブロークリーナーのフィルター部に吸い込まれた異物を除去していた。終了後、機台の上から				300

11	2017	1	16~ 17	降りようとしていたが、脚立が低く機台から少し離れていたため、誤って足を滑らせて転落し、機台横のインバーターBOXに腰部を打ち付けた。	59	1	169	~ 499
12	2016	11	6~7	混打綿機を起動後、機械の綿詰まりを認めたため、覗き窓を開けて綿を取り除こうと手を入れた際、回転部分に左手親指及び示指が接触して負傷した。	66	7	169	50 ~ 99
13	2016	10	9~ 10	工場内の通路にパレットを取りに行く時にころんだ。	65	2	417	10 ~ 29
14	2016	10	10~ 11	撚糸用の糸の加工機械を修理する時、本来は機械を停止して部品の交換をするが、一部の部品交換の為、機械を停止せずに作業及び点検中に誤って機械に作業服の袖を挟み負傷した。	57	7	169	10 ~ 29
15	2016	1	13~ 14	移動の為歩行中、壁側に立てかけてあった床掃除用のブラシに躓き、捻挫し、左足小指付近を骨折する。	54	99	911	50 ~ 99
16	2015	12	8~9	工場入口のスロープを徒歩で降りている際、雨で濡れたスロープで足を滑らせ転倒し、右足を骨折した。	54	2	417	50 ~ 99
17	2015	12	15~ 16	ラップを作成する作業中、ラップを満管で入替した直後にラップの巻き付き状態が悪かったため、機台が運転しているにも関わらず、ラップの端を手を使って巻き付けようとした際に、誤って上部ラップローラーと下部カレンダーローラーの間に手を挟まれてしまった。	24	7	163	100 ~ 299
18	2015	12	8~9	撚りをかけた糸を小台車に移している時、糸の結びがとれたので、小台車と機械の間で結び直している時、結んであった後ろ髪が機械に巻きつき引っぱられた。	63	7	169	1~ 9
				箱詰めをしている途中、梱包機の充電器の取り外しに行こうと				50

19	2015	11	13～ 14	している歩行中にパレットの隙間に右足が引っ掛り、前に転倒し、左足の膝を床に強打しケガをした。	42	2	416	～ 99
20	2015	9	20～ 21	精紡機に巻きついた綿屑を除去しようとして回転するローラーに左手人差指を巻き込まれ負傷。	44	7	169	50 ～ 99
21	2015	7	19～ 20	カード工程において、機台間を綿ゴミの入った袋を持って移動中に、カード機のシャフト部分に袋のひもが絡まって転倒した。	21	2	416	50 ～ 99
22	2015	7	7～8	駐車場につき車から降り、雨がたくさん降っていたので急いで事務所に入ろうとした時、膝をひねり痛みが走った。	52	19	921	1～ 9
23	2015	6	19～ 20	工場内においてカード機の仕掛かり品を変更中、カード機のモーターの電源を切り清掃作業を開始しようとした時、完全停止していない状態で綿ぼこりを取ろうとし、はめていた軍手と共に左手をまきこまれた。	49	7	169	1～ 9
24	2015	2	13～ 14	工場内の出荷・梱包作業場で、出来上がった加工糸を専用台車で移動させる際に、台車を2台同時に移動していた。左手側の台車が床にあった物に引っ掛かってしまい、台車が急ストップし、同時に右手台車の動きを止めることが出来ず、台車と台車の間に右手親指を挟んでしまい骨折した。	54	7	362	10 ～ 29
25	2015	1	15～ 16	通路でまたごうとしたストーブのコードに左足が引っかかり左側から転倒し左膝を強打した。	58	2	417	10 ～ 29
26	2015	1	5～6	工場にて、機械（カード）を使用して紡毛作業中に、機械の間にゴミ（綿）を発見し、通常であれば機械を止めてゴミを拾うが、反射的に機械運転中にゴミを拾おうと機械の間に手を伸ばしてしまい、ギアとギアの間に左腕が挟まり、負傷した。	73	7	163	10 ～ 29
				機台の清掃作業中、寸動運動で布ウエスを使用し、ローラー部				10

27	2015	1	9～ 10	分を拭き取っていたところ、ウエスの端が巻き込まれ、ゴム手袋ごと左手がはさまり、指を負傷した。	56	7	169	～ 29
28	2014	12	9～ 10	裁断室で延反した生地を3等分にする作業中、生地の耳端から約10cm裁断途中で生地が浮きそうになったのを左手で押さえた際、生地押さえレバーに指が挟まった状態で手押し裁断機を自分の左手方向に進めてしまい左手薬指を切った。	30	8	169	50 ～ 99
29	2014	11	8～9	ワインダー作業中に、左手で台車を持って行こうとした時、前方にあった台車の取っ手と引っ張ってきた台車の取っ手の間に被災者の左手小指を挟んでしまい、左手を動かしてあわてて台車を移動させようとした時に、爪がはがれた。	57	7	362	1～ 9
30	2014	10	15～ 16	機械に挟まった綿屑をペンチで除去しようとし、力いっぱい引っ張ったところ、左手がペンチから抜けて左肘を後部の機台にぶつけて負傷した。	50	19	364	50 ～ 99
31	2014	7	11～ 12	事業場の燃糸場において、燃糸紙管に巻き付け作業中、紙管を落とし壁側に転がり、その紙管を拾い頭を上げたところ、壁の鉄骨に左頭部を強打し挫創した。	42	3	418	10 ～ 29
32	2014	5	14～ 15	機械整備中、フィードコンベア上にボルトを落とし、機台を停止せず手を出したため、コンベア間に右手を巻き込まれ、皮膚を剥脱した。	27	7	224	100 ～ 299
33	2014	4	6～7	原料の巻き付きを除去した後、切れたスライバーをラビングエプロンに入れようと、左手をエプロンに近づけたまま、誤って寸動ボタンを押し、ラビングエプロンに左手を挟まれ負傷した。	62	7	169	50 ～ 99
34	2014	1	9～ 10	事業場内の燃糸場において、高さ30cmの椅子に座って燃糸巻き付け作業中、椅子の右側脚に絡んだ糸を取ろうとしたところ、バランスを崩して右側に転倒し、右肘を強打したもの。	41	2	169	1～ 9
				工場内の通路に置いてあったビニール袋がを飛び越そうとした				100

35	2013	9	16～ 17	際、足にビニールが引っ掛かり、転倒し、足膝蓋骨を強打し、骨折した。	51	2	611	～ 299
36	2013	7	10～ 11	紡績工場内にて、綿を掃除する為、台の上に乗っていたところ、足を滑らせ、台を踏み外し、落下。手を強打した。	56	1	169	10 ～ 29
37	2013	6	9～ 10	紡績工場の混打綿工場にて、綿をシート状にプレスし、綿をロール状（ラップ）に巻き取る機械の巻き取り部（ラップローラー）に手を入れ、巻き込まれた。	35	7	163	50 ～ 99
38	2013	5	9～ 10	カセ操り用の糸を縦4段ある台に刺そうとしたところ、手が滑り、転倒した。	64	4	529	1～ 9
39	2013	4	15～ 16	集塵機の綿の詰まりを発見し、停止ボタンを押さず、テーカインの上吸い三角ダクトをずらし、手にて綿を取り除こうとしたため、テーカインに接触し、巻き込まれた。	37	7	169	50 ～ 99
40	2013	1	16～ 17	駐車場へ移動中、凍結した路面により滑り、転倒。手首を骨折した。	59	2	417	30 ～ 49
41	2012	11	11～ 12	工場内にて、撚糸機械の監視作業続行中、断糸により停止している箇所を発見し、絡まっている糸を取りに行った際、回転しているシャフトに糸が絡まり、手第指付け根、第指、手第指を糸とシャフトの間に挟まれ、負傷した。	42	7	169	1～ 9
42	2012	10	9～ 10	始業時の休憩運転補助作業中、満管コップのリンクコーナーへ供給ボビントレーコンベアーで送り不良の不具合が生じた。トレ送リコンベアー駆動部のゴミ詰まりと考え、電源スイッチを切らずにエアシリンダーの下側から示指と中指でゴミを挟み除去しようとしたところ、送り装置が作動し、レール接続ホルダーとケースブラケットの隙間に示指、中指を挟まれ、両指の第一関節付近を負傷した。	46	7	224	10 ～ 29

43	2012	8	10～ 11	ドッファーカバーに風綿が付いているのを発見し風綿を手で取ろうとしたところ、手中指をドッファーとカバーの間に挟まれ、負傷した。	35	7	169	50 ～ 99
44	2012	5	14～ 15	計器を取り付ける木箱を製作中、箱の上に置いた板を、足で押さえながら切っていたところ、バランスを崩し、転倒。膝を強打した。	63	2	371	50 ～ 99
45	2012	4	12～ 13	紙管ストッカーへ紙管を補給するため、紙管専用台車に置いてあった紙管を手で取り、片方の腕に抱えていた際、紙管1ヶが床に落下した為、咄嗟に落ちた紙管を拾おうと屈んだ際、紙管専用台車の角に額の中心辺りを強打し、負傷した。	54	3	362	50 ～ 99
46	2012	4	12～ 13	ガーネットの掃除中、ストリッパーのワイヤー針に人指し指と中指の第2関節と甲にかけて引掛けた。	69	8	169	1～ 9
47	2012	4	14～ 15	ビームと呼ばれる金属の筒（30kg程）を積み上げていたところ、落下したビームで手を挟み、骨折した。	31	4	611	1～ 9
48	2012	3	15～ 16	紡績工場の機械（精紡機）付近にて、管系カゴを運搬車に載せるために持ち上げたところ、腰に激痛が走った。	35	19	921	50 ～ 99
49	2012	3	11～ 12	機械を清掃中、手を巻き込まれ、指を負傷した。清掃中、機械を停止せずに行った為、手を巻き込まれた。	51	7	224	50 ～ 99
50	2012	2	12～ 13	合繊カードから揚った篠を整毛するギル機において、ムラを測定し制御するメジャーリングローラーが急に動かなくなり、どうなっているのかと点検中、手でローラーを回してみたところ電源を切ってなかったため動き出し、ローラーのすき間に指をはさまれた。	64	7	169	1～ 9
51	2011	5	4～5	撚糸機の間で、ベルトコンベヤー上の製品を正しく直そうと、手を伸ばしたところ、捲取りシャフトに作業着のそで下がシャ	55	7	169	30 ～

				フト軸にまきつき、上着下着がはぎとられ撚糸機に締めつけられ、胸部、ロツ骨3本が骨折、負傷した。				49
52	2011	5	10～ 11	切れた糸をつなぐおり、巻き取りホーランにて指をはさむ。	22	7	169	1～ 9
53	2011	5	14～ 15	トンネル内で、運転中（納入後の帰社途中）に、大雨のため、路面がとても滑りやすい状態があつて、スリップし、トンネル内の側壁に激突した。	26	17	221	1～ 9
54	2011	4	16～ 17	当社北工場内にて原料のダンボールを取る時、手が滑りバランスを崩し転倒し、その時右手をつき負傷した。	58	2	611	10 ～ 29
55	2011	2	16～ 17	A工場現場にて、紙管残糸除去装置駆動部の扉を開放し、内部を整備中にプッシャーが作動し左手首を挟まれ断裂した。	67	7	169	30 ～ 49
56	2011	2	10～ 11	紡績工場内で、リング機のローラーに巻きついた糸を鎌で切った後に右手で取り除く作業をしていたところ、取り除こうとした糸が切れておらず、また、ローラーを止めていなかったために、その糸が右手薬指に絡まり引き込まれてしまい、ローラーの後にあつた金具に指を引っ掛けて傷を負った。	62	7	169	10 ～ 29
57	2010	12	10～ 11	工場内リング機で出来上がった製品を50t位車に積んでいる時6ボビンに巻いた製品が1本3K位手に持っていた時すべって製品と製品の間で落ち右手小指上に落ちて損傷。	59	4	611	10 ～ 29
58	2010	11	11～ 12	工場内で荷物を台車にのせて運んでいたところ、床についていたワックスに滑って転倒し、右手を打撲した。	81	2	416	1～ 9
				後紡備品室で朝ミーティングが終了し、精紡機の粗糸替えのため、精紡機NO.10に向かったが、既に作業が完了しており、次の作業段取りのために後紡備品室に引き返した。その途中、精紡機NO.3を通過しようとした時に、精紡機NO.3の左サイドで				

59	2010	11	9～ 10	トッパーム上に粗糸(綿)の固まりが盛り上がっているのを発見した。被災者は粗糸(綿)の固まりを取り除く為、トッパームを右手で持ち上げた後、左手でボトムエプロン付近の粗糸(綿)の溜まりを取り除こうと摘んだ時に粗糸(綿)がボトムローラーに引き込まれた。その際、左薬指に粗糸が絡まり、一緒に引き込まれた。すぐに左手を引き抜いたが第一関節を切断した。	57	7	169	100 ～ 299
60	2010	9	11～ 12	倉庫で製品の在庫確認作業時、パレットにケースが積んである所で、ケースにあがり確認していたら、空ケースがあるのに気づかず踏んでしまい、約2m上から落下しケガをした。	76	1	611	10 ～ 29
61	2010	9	8～9	バックウォッシャーA列クリールの作業場を通り中央通路に面したドアを閉めに行った。その際、染め上がり品を乗せるパレットにかましていた角材(40mm×50mm×600mm)に躓き転倒した。転倒時に右手を床面につき、中指を負傷した。	59	2	379	100 ～ 299
62	2010	9	15～ 16	通常より業務量が増え次第に腕が痛くなった。監督署A氏、現地調査済	61	19	921	1～ 9
63	2010	8	10～ 11	A工場内、Aにおいて、機台上部にあるAの掃除の為、機台付属のステップに昇り、左側、中央部、右側の3箇所のステップを、機台上部に取り付けられている手摺りに体重をかけながら中央部ステップから左側ステップへ移動した際、手摺りの左側取付部分が破損、脱落した。その為本人は87cm下の床へ落下。左足から着地したものの81kgの体重と加速度の負荷により左足首の関節を骨折した。	38	1	169	50 ～ 99
64	2010	7	13～ 14	現場SC1機R側2Fで糸継作業を終了し、1Fへ移動するため階段へ移動した。左手に作業カゴ(30×40×20)をもち、右手で手すりをもち降りようとして1～2歩降りたとき、汗で右手が濡れていたため、すべて手すりをつかめず、その	61	1	413	50 ～ 99

				ままた下へ降り臀部を強打した				
65	2010	6	16～ 17	工場内にて電動作業リフトを使って原糸を機械に取付けていた時、不注意にも誤って後進ペダルを踏んでしまい前方にいた為、下に落ちてしまった。	56	1	229	1～ 9
66	2010	3	11～ 12	紡績工場の練糸工程において、練糸機B-7の中央ステップ（床上約50cmの踏台）で作業中、移動しようとして右足を右側ステップへ乗せた際、右足がすべり体勢を崩し、グリップロッドの手も離れ、床上に転落し負傷した。勤務後、帰宅してから通院し骨折していた。	55	1	169	30 ～ 49
67	2009	11	14～ 15	工場内のワインダー木材機にて、ホルダー（糸巻き）作業に従事中、数台のホルダーの内、1台のドラム（回転数毎分500回）に糸が巻きつき、急いで停止しようとしてホルダーに左手をかけた時、その手が滑って、回転中のドラムとカバーとの間に挟まれ、指を受傷した。	80	7	169	1～ 9
68	2009	11	15～ 16	業務終了後、忘れ物を現場に取りに戻った際、編機横の所定外の場所に置いていたカバンを取ろうとした時に、編機の電源コードに右足を引っ掛けて転倒し、右肘を床に強打した。痛みがとれず翌日受診したところ、骨折していた。	58	2	417	50 ～ 99
69	2009	9	10～ 11	被災者は、工場内の通路で、作業台車に乗り、機械のテール作業中、この通路を別の作業員がチーズ台車を運搬してきて、誤って作業台車に接触した。その反動（衝撃）で被災者が台車から転落し、頭部を強打した。	57	1	362	30 ～ 49
70	2009	9	15～ 16	工場で変速機のベルトを交換している時、きつくはめづらかったので、手で押さえながら作業をしていたところ、誤って手袋をベルトに挟み、左手指を負傷した。	48	7	121	1～ 9
71	2009	7	8～9	繊維製品工場において、繊維をカットした製品を搬送するコンベアベルトに絡まった屑糸を左手で除去しようとした時、コンベアベルトと一緒に左手をコンベアローラーに巻き込まれ、左	24	7	224	50 ～

				手の指及び腕を骨折・負傷した。				99
72	2009	6	10～ 11	紡績カード工程でできる篠を切断する篠カット機を清掃中、 カット機のシリンダーに左肘が接触し、負傷した。	58	7	169	10 ～ 29
73	2009	6	13～ 14	当社工場において、網をトラックから降ろしていた。その際、 網さばき機（網を巻き上げる機械）にシャッフルを取り付けよ うとした時、指を挟んで負傷した。	46	7	121	1～ 9
74	2009	5	10～ 11	工場内でハイピックリフトで3層建ての棚から荷下ろし作業 中、リフトから足を踏み外し、約3mの高さから転落して、両 足を骨折した。	63	1	229	30 ～ 49
75	2009	4	13～ 14	工場において、合糸機で合糸作業をしていた。巻き上がった糸 を下ろそうとした時、誤って回転しているドラムに指が当り、 指先を巻き込まれ、あわてて引き抜いたが骨折した。	54	7	169	10 ～ 29
76	2009	1	14～ 15	精紡機のドラフトしているローラーに巻きついた綿を取ろうと して、スライバーを持ち上げたが、持ち上げたスライバーと一 緒に右手を巻かれ負傷した。	61	7	169	30 ～ 49
77	2009	1	10～ 11	倉庫出口で敷いてある一畳ほどの、大きさの鉄板の反りを修正 するため、うら返しにしようと思い、持ち上げたところ、手が 滑り右足に落下した。	60	4	521	10 ～ 29
78	2008	10	11～ 12	機械上部のホッパーに粉体（10kg）を投入しようとして脚立に立っ た際、バランスを崩し、約1.8mの地上に落ちた。	55	1	371	50 ～ 99
79	2008	10	14～ 15	事業所内の駐車スペースで、荷積み作業をしていた際、構内で 作業を行っていたフォークリフトが後退したところ、車両の リアゲートに接触し、衝撃で傾いたため、ステップ部が右膝に 当たり、受傷した。	52	6	222	100 ～ 299
				精紡機で作業中、糸が満管になった（管に糸が満量になった）				

80	2008	10	10～ 11	為、ミニドッファー（玉揚機）で作業していた。精紡機からミニドッファーを外す際に、後ろに別のミニドッファーがあるのに気付かず、ミニドッファーとミニドッファーの間に左手首を挟んだ。	32	7	169	30 ～ 49
81	2008	7	6～7	掃除作業中、掃除機内の部品を取り外そうとしたが、掃除機を停止せずに左手を入れたため、回転しているシリンダに接触して受傷した。	32	7	169	100 ～ 299
82	2008	7	15～ 16	工場内で、休憩時間が終わり、2階の休憩室から現場に戻る際、最後になったため慌てて階段を下りたところ、下から3段目で足を踏み外し、右足を負傷した。	25	1	413	50 ～ 99
83	2008	6	11～ 12	加工工場内にて、反物を載せた台車を引っ張って運搬中、壁に当たる直前に体全体でブレーキを掛けた時、腰に激しい痛みが走り、そのまま立てなくなった。	45	19	921	100 ～ 299
84	2008	4	14～ 15	ワインダーのシャフトに糸が巻き付き、それを取り除こうとした時、指を巻き込まれ、上にあげていたレバーが落ちてきて右手指を挟まれる。	73	7	169	10 ～ 29
85	2008	4	10～ 11	工場天井付近の電気工事のため足下3.5mの梯子上で電線の撤去作業を行っていた。撤去した電線を床に落とそうとした時、バランスが崩れた反動で梯子の足場が床面を滑り出して外れ、被災者は床上に落下し受傷した。	43	1	371	50 ～ 99
86	2008	4	9～ 10	ボイラー（丸型二重ムシガマ）より連結されている糸よりどめセット機を動かすためのベルトが滑り、動かないためカバーを取り外して手を入れてベルトを動かしたところ、スイッチが入っていた為、ベルトが急に回りだし、ベルトとプーリーの間に左手の指を挟んでしまい負傷する。	67	7	121	10 ～ 29
87	2008	4	15～	リフトで糸を巻く機械（高さ約150cm、横約200cm、幅約100cm、重さ約300kg）を移設しようと、被災者が誘導していた際、不意に機械のバランスが崩れ、本能的にそれを支えよう	40	4	612	10 ～

			16	としたが無理である事に気付き回避をしたが、完全に回避できず誤ってそれに右手肘辺りが当たった。				29
88	2008	2	11～ 12	不織布の挿入作業時、補助作業として不織布の挿入具合が悪いと判断、手直しをしようとして右手の指をローラーに挟まれ損傷した。	59	7	163	50 ～ 99
89	2008	2	16～ 17	工場内撚糸機で撚糸が完了した後、玉揚げをする際にリングレールを所定の高さに手動ハンドルを回して移動させようとした所、ハンドルの回転を止めている筈のクラッチが切れておらず、ハンドルが回転した為に慌ててクラッチを切ろうとして回転するハンドルに左腕を挟まれると共に体を投げ出され背中を強打した。	53	7	169	10 ～ 29
90	2007	12	13～ 14	紡績工場内の紡毛カード機でLOT切換作業終了後、ブレストストリッパーを清掃及び点検中に、不安定な位置から作業したため、バランスを崩し清掃用具が機械に弾かれブレストストリッパーに手が接触し負傷した。	55	8	169	1～ 9
91	2007	12	21～ 22	績紡機Z-x号台で自動玉揚作業中に、抜き残し管糸を手で抜き、下のトレイに入れる時に、自動玉揚バーに手を挟まれた。	58	7	169	50 ～ 99
92	2007	11	14～ 15	工場出荷口で織物製品を大型トラックに積み込み作業中に、パレットに積んである製品の中から1本を引き出そうと製品を縛ってあるビニール製ヒモを両手で持って引張ったところ、ヒモがすっぽり抜け、その拍子にバランスを崩して、出荷口ホームから70cm転落し、負傷した。	41	1	611	50 ～ 99
93	2007	11	13～ 14	ワインダーで糸を紙管に巻き取っている時に、回転しているドラムと紙管の間に、手に巻きつけていた糸屑が巻き込まれ、手もドラムに巻き込まれた。	51	7	169	10 ～ 29
			13～	台に乗って作業をしていたところ、それに気づかず、業者が台				50

94	2007	10	14	を動かしたため、バランスを崩して転落し、負傷した。	59	1	371	～ 99
95	2007	8	15～ 16	工場内にて移動しようとして、パレットの角に強くつまずき、負傷した。	59	3	419	30 ～ 49
96	2007	8	9～ 10	工場にて精紡作業中、ローラーの後方のゴミを取っていたところ、ローラーに強く触れて、指が巻き込まれ負傷した。	19	7	163	50 ～ 99
97	2007	7	8～9	機械の後側にあるモーターのカバーについたホコリをコンプレッサーで取り除くところを、手で払い除けた時にモーターのカバーに風通しのために開けた穴に指が挟まり羽根に触れたため、負傷した。	56	7	169	1～ 9
98	2007	7	8～9	建物内で燃糸作業中、天井のボード1枚（90×180cm）が落下し、燃糸機に当たり、被災者の頭をかすめ、肩に当たった。	65	4	522	1～ 9
99	2007	6	16～ 17	カード機コンデンサー部分において、耳のスライバーがラバーに入らずに下に落下したので、スライバーを手でラバーに入れようとして、右手で持って行ったところ、指をラバーに挟まれ、負傷した。	34	7	169	10 ～ 29
100	2007	6	5～6	精紡の切替中、綿を通して、ステップから降りる時、下に置いていた巻き付け用のコーンの上に降りて転び、その時、手を付き負傷した。	65	2	413	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。